

飲食店で労災が起きたときの対応フロー

仕事中にケガが起きたら、まずケガをした人への対応を優先します。

1

安全を確保・応急処置

作業を止め、ケガの状態を確認します。必要な応急処置を行い、緊急性がある場合は救急要請など適切に対応します。



2

必要に応じて医療機関を受診

受診するときは、医療機関に「仕事中のケガです」と伝えます。仕事中のケガについて、最初から健康保険を使って受診するものではありません。



3

事故の状況を記録

いつ・どこで・何をしていた・どのようにケガをしたのかを確認します。目撃者や現場の状況も確認します。→2ページ目へ記入



4

必要な手続きを確認

ケガの状況や休業の有無などを確認し、必要な労災保険の手続きを進めます。あわせて、労働基準監督署への報告が必要か確認します。



5

ケガをした本人をフォロー

ケガの状態や、仕事に戻るうえでの不安などを確認します。必要に応じて仕事の内容や復帰の仕方考えます。



6

原因を確認して再発防止

なぜ事故が起きたのかを振り返ります。床・設備・作業方法・忙しさ・人員配置など、店として改善できなかったか確認します。

まず、ケガをした人を大切にする。

安全確保・応急処置 → 必要なら受診 → 状況を記録 → 手続きを確認 → 本人をフォロー → 再発防止

労働災害 発生状況確認シート

ケガをした方への対応を最優先にしたうえで、分かる範囲で記入してください。

1. ケガをした方

氏名 _____ 職種 _____
住所 _____

2. 事故が起きた日時

発生日 年 月 日 発生時刻 時 分ごろ

3. 事故を確認した方

氏名 _____ ※直接確認した方がいない場合は、状況を確認した上司等

4. どのような場所で起きましたか？

例：厨房のフライヤー前、洗い場、ホール、バックヤードなど

5. どのような作業をしていましたか？

例：揚げ物、グラス洗浄、食材の運搬など

6. 何が原因・きっかけになりましたか？

例：油、熱湯、包丁、割れたグラス、濡れた床、段差など

7. そのとき、周囲はどのような状態でしたか？

例：床が濡れていた、通路に荷物があつた、機械が動いていたなど

8. どのような事故が起きましたか？

できるだけ具体的に記入してください。

労働災害 発生状況確認シート

続き：受診・休業・事故後の確認

9. ケガをした部位・状態

ケガをした部位

状態

☐ 切り傷 ☐ やけど ☐ 打撲 ☐ 捻挫 ☐ 骨折 ☐ 腰痛 ☐ その他（ ）

10. 受診した医療機関

病院・クリニック名

薬局名

受診日

年 月 日

11. 仕事を休みましたか？

☐ 休んでいない ☐ 休んだ ☐ 確認中

休業開始日

年 月 日

復帰日・復帰予定日

年 月 日

12. 現場の記録

☐ 現場写真あり ☐ 防犯カメラ等で確認可能 ☐ 目撃者あり

☐ その他

事故後の確認

☐ 労災保険の手続きを確認

☐ 労働者死傷病報告の要否を確認

☐ 本人の状態を確認

☐ 原因・再発防止策を確認

確認者

確認日

年 月 日